

1. 以前はスイカズラ科だったが、レンプクソウ科に改められた。
2. 落葉低木
3. 低地から山地の林によく生える。
4. 花期:5~6月
5. 果期:9~11月
6. 初夏に面状の散房花序がついて、白い小花をたくさん咲かせる。
7. 花序の枝には毛が密生する。
8. 花の匂いはよくない。
9. 雄雌同株
10. 紅葉する。



ガマズミの実

11. 赤い実は、酸味(クエン酸)が強いため、食べられないが、果実酒として愛用されることが多い。
12. オトコヨウゾメやオオカメノキ(別名:ムシカリ)もこの仲間である。
13. 葉っぱは対生し、表裏ともに全面に毛がはえるので、ふさふさとした手触りである。
14. 材木には柔軟性があり、折れにくい。柴や薪を結んだり、かんじきの材料にも利用された。
15. 鎌の柄に用いられることが多く、ガマ(鎌)の名がついたともいわれる。
16. 酸っぱい実をつけることから、ズミ(酸実)とも呼ばれたようだが、諸説がある。
17. コバノガマズミやミヤマガマズミの葉は細長くとがった楕円形なので、ガマズミとは区別できる。



ガマズミの花と葉